

ニュースレター

2006年 新春号 発行：皆川りうこの会 "Let's" 国分寺市東恋ヶ窪 6-7-31



新しい時代のまちを創る

揺らぐ安心、 信頼を取り戻す

新しい年になりました。

昨年は児童殺害・各種詐欺事件・JR脱線事故・耐震偽装問題など絶えることなく心痛む事件が発生しました。これらは利益重視・安全軽視・人の心の闇であり、まさに人災そのものです。これまで築き上げてきた人との信頼や安心を根底から覆されています。

しかし一方、地域では多くの方により下校時の見守り、防犯・防災の一環としてのパトロール活動等々なされています。住民・市民の信頼、協力無しにはまちづくりはすすみません。今失われようとしている安心や信頼社会を取り戻すことが急がれます。もう一度原点に立ち、社会のありようを再確認したいと思います。

本年も私自身の役割と責任を自覚し市民の目線で地域福祉・自治体改革にむけ取り組みます。本年もよろしくお願いたします。



国分寺市議会議員 皆川りうこ

昨年の第4回定例会は11月30日より12月20日まで開催されました。

同議会では、市として初めて導入される指定管理者の関連議案が提案となり、今後ますますこれまで行政が担ってきた事業への民間参入が進むことが予測されます。改めて、行政の役割の再確認・サービスの質・税金の使われ方を住民・納税者の目に関心を持つことが重要です。

自治体の質を高める為の役割と責任

今自治体の大きな課題として、事業や規模拡大路線ではなくその質を高める事が重要であると考えます。市民が地域で安心して暮らす為に、その後方支援体制としての行政の役割と責任があります。今後行政は困難な業務にシフトし、新しい時代にふさわしい市民のセーフティネットとしての「公」のあり方を考え実現していくことが必要です。

また「公」の分野に民間事業が参入する中、安かろう悪かろうといった安易

な移行ではなく民間もまちづくりの主体として質の高いサービスを提供すべきです。

行政・民間事業者・市民それぞれがその役割と責任を共有し、まちづくりを進めることが自治体の質向上につながるのではないのでしょうか。

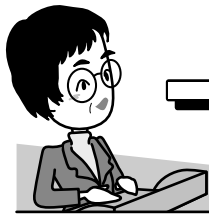
いうまでもなく市政を担う立場である議会・議員一人一人は、市民からの信託に基づくものである事を認識し職務を遂行しなければなりません。

疑惑を解明し信頼回復を

12月議会では、指定管理事業者選定に関わり特定議員及び職員による不正疑惑が浮上しました。議会最終日には、その調査を求める請求が提出され「政治倫理審査会」が設置される予定です。職員は地方公務員法33条「信用失墜行為の禁止」に抵触する恐れがあり、市

役所全体の士気の低下は計り知れません。信頼社会回復が急がれる中、早期解明とメリハリのある市政運営が求められます。

(指定管理者選定疑惑問題については3面に掲載)



一般質問より

各種福祉等の制度改革が急速に進んでいます。厳しい財政状況の中、サービスの質を落とさない政策転換が急務です。

12月議会一般質問では、来年度予算編成に向けて「理念なき数字合わせ」にならないよう政策の選択と集中で取り組み、市長自身の公約・政策の優先順位を責任もって示す事を求めました。市長より「まだその時期ではない」との答弁でしたが、2期目当選直後の予算編成であればこそ積極的に表明すべきです。特に来年度より導入される枠配当予算では、一次事業に関して各部に指示した一律カット削減には疑問が残ります。

「行政の役割と責任」福祉分野

こども

皆川 いう2 4月より移行予定の、子ども虐待への対応を強化する子ども家庭支援センターでは、児童虐待の未然防止・早期発見・要保護児童に関する支援のネットワークの中核機関、地域の子育て支援の中心機関としての役割を担うこととなります。

一方日常的な活動として民生委員等児童福祉・教育関係の皆さんの協力は欠かせません。そこで関係者が安心して対応してもらうためにも行政の役割としてのバックアップが重要です。休日、夜間緊急時に問題が発生し、判断を仰ぎたいときなど職員と直接連絡ができるような工夫や対応を検討していただきたい。

市長の答弁

夜間関わった事例があったともきく。大変貴重な指摘なので考えさせていただきたい。

(虐待など困難なケースは行政が関わり、自治体の責任で対応すべき、と考えます。)

高齢者

皆川 いう2 改正介護保険では、制度全体を「予防重視型システム」に転換し、地域における総合的・包括的なマネジメントに力を入れたケアシステムの再構築が必要になってきます。そこで、高齢者の実態把握・虐待対応・権利擁護・新予防給付等生活支援を含む継続的機能を担う役割として、「基幹型地域包括支援センター」が要となります。

市では4月開設に向けて体制整備が必要です。主任ケアマネージャー・保健師・社会福祉士の専門職配置と人員体制は大丈夫でしょうか。

市長の答弁

必要な増員であり体制をしっかりと整えていきたい。

手ごたえのある職員研修を ～聴講から参加・意識改革へ～

皆川 いう2 職員研修については、今後体系的に人材育成基本方針に基づき実施される予定になっています。しかし、講師の話を一方向的に「聴く」形式ではなく参加型により手ごたえのある研修も検討してはいかかが。

多治見市でも実践されている「事業の仕分け作業」の手法は市の事業を職員自身が認識するものです。そもそも行政がやるべき仕事か・国の仕事・東京都がやるべき事か、議論し必要か否か見極める作業により、改めて自分の仕事を再確認し

Plan Do Check Action

「計画・実行・評価・改善」の視点で税金の使い方をチェックする!

意識改革につへもつなげます。いわゆる行政評価のようにその結果事業を縮小・廃止につなげるものではありません。

政策担当部長の答弁

中身については受け止め、研究してみたい。

住民参加型ミニ公募債 ～歳入の自治の視点で～

皆川
りうこ

市ではこれまで必要な資金は税金や国または民間金融機関からの借入れにより調達してきました。

しかし平成14年より地方自治体に地方債の一種「住民参加型ミニ公募債」の発行が認められ、資金調達の多様化が可能になったことから、市でも導入を検討しエックス山確保への活用をしてはいかがか。

市長の答弁

良いと思う。緑地の保全の目的に進んでいくのが一番適切と考える。

指定管理者制度

～特例で指定された事業者の 経営努力を～

皆川
りうこ

公募によらない指定管理者として市では、自転車駐輪場の一部と福祉関係事業での特例指定管理者を予定しています。競争原理がないとはいえこれまで以上に経営努力をすべきです。事業開始にあたり、利用者へのアンケートをとる等により利用者の声を聴く仕組みを作り運営に反映させるよう市として求めてはいかがか。

政策部長の答弁

そのような方向で庁内連携して対応したい。



市営駐輪場の指定管理者事業者選定に際し不正疑惑浮上

—政治倫理審査会設置に向け市議会議員19人より調査請求がなされる

調査結果によっては百条委員会設置を！—

補正予算審査特別委員会の質疑の中で、市内の駐輪場12箇所を管理する事業者の選定過程において副議長の佐藤議員が、応募業者の代表者を選定委員会の委員長である政策部長に紹介し、星野市長や政策部長・都市計画課長と業者の代表者と共に同席し会っていたということが判明しました。

平成14年に施行された「国分寺市政治倫理条例」では市が行う契約などについて特定の業者の推薦や紹介を禁じています。同条例政治倫理基準 第4条では「市長及び議員は、市民全体の奉仕者として品位と名誉を損なうような一切の行為を慎み、その職務に関し不正の疑惑をもたれる恐れのある行為をしない事…」とあり、

今回の一連の事実経過は条例の内容そのものであります。皆川 りうこは、本件に関し委員会のなかで「この問題の解明は別の場できちんとすべき」と発言しました。委員会での長時間にわたる議論を経て、国分寺市議会議員19人の署名により条例施行後初めて政治倫理審査会への調査請求がなされました。

政治倫理審査会での調査は、議員を対象としていることから関係職員の問題は議題となりません。しかし地方公務員法とのかかわりで、市長は当該職員の何らかの処分をすべきです。また調査結果によっては、議会の独自調査機関である百条委員会設置の検討も必要と考えます。

まちの声・こゑ・
拡大版 VOICE

ロハス的生活

— グローバル(地球規模)の視点でローカル(地方・地域)から実践を —

最近耳にする[LOHAS](ロハス, ローハス Lifestyles of Health and Sustainability)という考え方、その意味するところは、「自分の健康なライフスタイルに気を使いながら同時に地球環境や自然保護に気を使う人を総称している」とのことです。かといって禁欲的だったり何でもロハスの範疇に入れてしまうのは危険とも…。

無理なくできる所から一人一人が配慮する事がまずは大事な事だと思います。ロ

ハスには10の基準が示されています(下記)。これは企業向けのようなのですが、個人や行政側にも通じるものがあるのではないのでしょうか。

いま市では長期構想・計画を策定しています。ロハスのコンセプトもほしいですね。

- ①健康に配慮する
- ②持続可能な地球環境に配慮する
- ③子ども次世代に配慮する

- ④自社にこだわりミッションをしっかりとつ
- ⑤ファッション性がある(100%エコではない)
- ⑥関わる事でHAPPYになる
- ⑦誰かに紹介・推薦したくなる
- ⑧ロハスをブランドに利益追求を図らない
- ⑨日本風土及び文化を継承発展させる事業を行っている
- ⑩常に向上心をもち真摯に取り組む

(K・Tさん 50代)

皆川りうこの活動報告

- 10月 4日(火) 教育部会・環境部会 傍聴
- 13日(木) 国分寺・西国分寺駅特別委員会 傍聴
- 16日(日) ソーシャルワーカーの現場から見えてくる子どもの状況 寺出壽美子氏
- 19日(水) 財源部会 傍聴
- 20日(木) 管理部会 傍聴
- 22日(土) コラボレーションフォーラム
- 23日(日) 防災のつどい 北の原地域センター
- 27日(木) 厚生委員会
- 29日(土) 障害者施策セミナー
徹底検証障害者自立支援法案・介護保険法
- 30日(日) 聴いてほしい私たちの声—子ども自身が語る"いじめ"とは—
- 11月 9日(水)~10日(金) グローバル21会派視察 阪南市「財政再建プログラム」/静岡市「市民協働市場」
- 16日(水) 介護保険運営協議会 傍聴
- 17日(木) 区の仕事を評価するシンポジウム 中野区役所
- 18日(金) 会派説明会
- 19日(土) 虐待により命をなくした子どもの為の鎮魂の祈りとシンポジウム
- 20日(日) 国分寺市民文化祭 美術展鑑賞
- 21日(月) 推進会議 傍聴
- 22日(火) 都市整備部会/福祉部会 傍聴
- 30日(水)~12月20日(火) 第4回定例会
- 12月 3日(土) 人権のつどい 子どもは大人のパートナー 坪井節子氏
- 11日(日) 防犯についての学習会 北の原地域センター
- 16日(金) 自治体改革最前線 トークセッション
中野大輔(中野区長)・北川正恭氏(前三重県知事)
- 26日(月) 推進会議 傍聴
- 2006年1月9日(月) 成人式
- 11日(水) 都市整備・開発部会/福祉部会 傍聴
- 12日(木) 福祉関係団体新年会 社会福祉協議会主催

皆川りうこの会 "Let's"
伝言板

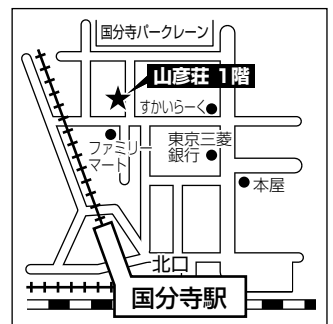
皆川りうこの会 Let'sでは、国分寺市のまちづくりを市民のみなさんとともに考え進めていきたいと思ひます。

①日頃の市政に対するご意見等お聞かせ下さい。又議会報告も行っています。

【今後の日程】

- 1月31日(火) 午後2時から4時まで
- 2月15日(火) //
- 4月8日(土) //
- 5月9日(火) //

【場所】



②皆川りうこの会 Let's 参加者募集中

【会費】—□ 1000円

郵便振替

□座番号 00160-9-614301

□座名義 「皆川 りうこの会Let's」

問い合わせ・連絡先

TEL/FAX 042(324)4442

TEL 042(324)7181

メールアドレス変更しました

E-mail : riuko080@ybb.ne.jp